



編集・発行所
福井県教職員組合
福井市大手2丁目22-28
TEL 23-1887
郵便番号 910-8544
定価70円(郵送料共)
毎購読料(含組合費)

大和印刷所

- ★十二月県議会北川県議一般質問
 - ★退職組合員のみなさまへ
 - ★十二月県議会渡辺県議一般質問
 - ★フォーチュンパーティー
 - ★聴く力 アップセミナー開催
 - ★中体連と語る会(養護教員部)
- 1面
2面
2面
3面
4面

地域間格差の解消をめざして

12月県議会 北川県議一般質問

昨年12月の福井県議会にて、北川博規県議は、①医療的ケア児の状況②災害弱者の対応③教育行政の3点について質問しました。そのうち、教育行政に関しては「現在の中学2年生の高校受験から英検加点を実施しない理由と現在準備を進めている生徒や学校現場における混乱への対応」「読書と読解力の関連をどのように認識して施策につなげているか、また学校図書において財政措置されている図書費が各市町で予算化されているのか。さらに、市町に対するアドバイスがきちんとなされているか」という点にフォーカスした質問でした。2点目の「学校図書

費」に関する質問の意図は、国から財政措置されている図書費が、県から市町へと下りていく中で、本来の目的を達成するための生かす方がきちんとなされているかという事です。市町によって学校図書館の蔵書数にばらつきがあるような状況では、子どもの豊かな学びを保障することができません。子どもたちがどの市町であっても、多くの本に触れられるような環境を整えていかなければなりません。ある地域では充実した教育を受けることができ、他の地域ではそうではないということでは、公教育の役割を果たしているとは言えません。この質問に対し、教

育長からは、県内の小学校で3割、中学校で5割の学校で国図書館の図書標準が未達成だという答えがありました。北川県議は、この問題についてさらに追跡し、子どもたちの豊かな心を育むための読書環境の充実を図るとりくみを通じていきます。また、本会議後の厚生常任委員会では、「福井県子ども・子育て支援計画」について、子どもの貧困問題や児童クラブについて方針を明記することで、子どもの暮らしを取り巻く多くの問題について、改善・解決を図るべきという指摘をしました。北川県議は、公平性を保つという視点を大切に、地域間の格差を是正するための議会活動をすすめています。今後北川県議と連携を深め、よりよい教育条件の整備をめざしていきます。



対面方式となった県議会で
質問に立つ北川県議



北川委員
12月県議会 厚生常任委員会

退職をお迎えの組合員のみなさまへ

県教組は感謝と激励の意を込め、今年3月に退職される先生方をお招きし、退職組合員慰労激励会を下記の通り開催いたします。万障お繰り合わせの上、是非ご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、詳細なご案内は、ご自宅に5月以降郵送させていただきます。

- | | | | |
|---|----|---------------|--|
| 1 | 名称 | 退職組合員慰労激励会 | |
| 2 | 日時 | 2020年6月12日(金) | 受付 午後5時30分 開宴 午後6時00分 閉宴 午後8時00分 |
| 3 | 会場 | 福井パレスホテル | |

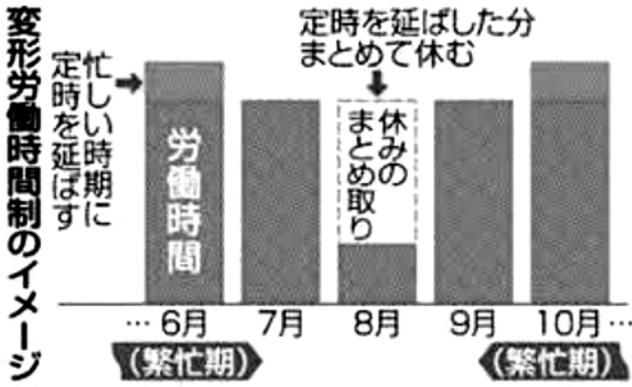
※遠方よりお越しの退職組合員の方には宿泊のご用意もいたします(費用は県教組負担)。

教職員の生活を守る

12月県議会

渡辺県議一般質問

北川県議と同じく、県教組組織内議員として活動している渡辺大輔県議は、12月県議会の一般質問にて「教育振興基本計画」の内容について質問しました。特に、昨年の臨時国会にて可決・成立した改正給特法で新たに導入が可能となった一年単位の変形労働時間制について、県としてはどのような導入しようとしているのか、また課題は何かという点について質問しました。この質問に対して教育長は「国は、忙しい学期中の勤務時間を長くする代わりに、夏休み中に休日をまとめて取りやすくす



教育問題について質問する
渡辺県議

る一年単位の変形労働時間制の適用を可能とする法案を12月4日に可決。県では昨年策定した『業務改善方針』に基づき、業務の見直しを進めてきた。昨年度上半期の県内小中高の時間外勤務80時間以上の延べ人数は一昨年度上半期と比較して38.5%減少している。夏休みに休日をまとめて取りやすくするためには、現在夏休み中に行われている補習や教員研修、部活動などをどこまで整理できるのかが課題と考える」と回答しました。この「一年単位の変形労働時間制」は、見かけ上の時間外業務を減らすだけで、抜本的な業務改善にはつながらないのではないかと批判があります。この制度を導入することで、教職員の生活にどのような影響があるのかとい

う検証がきちんとなされるべきです。他にも、水害問題（大雨を想定した場合、現在の排水ポンプで内水氾濫を防ぐことができるのか）や社会的養育（施設退所児童自立サポート事業について）、さらにスポーツイベントの開催など、幅広い分野に関して質問しました。

また、渡辺県議は総務教育常任委員会の中で、来年度新たに示される教育振興基本計画に関する議論の際、新しい学級編成基準などについて質問しました。

このように、県議会の本会議や各常任委員会でのやりとりが、本県の教育施策や教職員の働き方に大きな影響を与えていきます。県教組は、今後組織内議員と情報交換を密にしておける課題の解決にむけた取り組みをすすめていきます。



県教組と自治労合同「恋する Fortune Party～冬編～」



参加者42人で賑やかに開催

2月2日（日）午後1時半からナナイロ高木本店で、県教組と自治労合同の「恋する Fortune Party」が開催されました。1分間PRタイムやカードホルダー作り、ゲームタイムなどがあり、スイーツを食べながらのパーティーとなりました。男女あわせて42人の参加があり、様々な職種の方との交流も生まれました。3組のカップルが成立しました。おめでとうございます。



「聴く力」アップ・セミナー開催

2019年12月26日(木)、福井県

参加者の声

教育センターにて「『聴く力』アップ・セミナー」を開催しました。一般財団法人メンタルケア協会より指導精神対話士の輿石邦彦さんを講師にお招きし、「人生を豊かにする『聴く』ということ」というテーマで講演をお聞きしました。

「先入観や決めつけを持たずに、相手の気持ちに寄り添うことが大切」「大事な話を聴くときは、相手との距離や姿勢、身振りなども注意して」といったお話があり、傾聴のこつを学ぶことができました。また、ストレスから自分の身を守るための「セルフケア」に関する内容もありました。演習では、各支部の福祉対策部長とMCS(メンタルケアスペシャリスト)、一般参加者がグループになって話し合い活動を行いました。また、講師の先生とMCSで「良い聴き方・悪い聴き方」のデモンストレーションなどもあり、大変分かりやすい演習がすすめられました。今後も、組合員の悩みを和らげる一助となるようなセミナーを開催していきます。

・グループワークやロールプレイを通して、先生の資料の内容が心に入ってきました。相手の心を感じながら聴くことは、自分のエネルギーも必要ですがとても大切なことだと思えます。

・言葉も大切ですが、それ以上に60%も占めているというノンバーバルコミュニケーション(身振りや表情などでのやりとり)を今後意識していきたいと思えます。職場の同僚とも子どもとも、そして家族とも気持ちよく暮らせるように、聴き上手を目指したいと思えます。



講師の輿石邦彦先生



グループ活動の様子



ロールプレイの様子

あんしん むすぶ
教職員共済

<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

自動車共済

お見積りキャンペーン 実施中!

自動車共済の見積書をご請求いただくと

2020年1月1日～3月31日まで



もれなく全員に
「あむりんグッズ」
プレゼント!

何が届くかはお楽しみ♪



車検証をご用意いただき資料&見積書をご請求ください

WEBから スマホからもカンタン♪

教職員共済
<http://www.kyousyokuin.or.jp/>

または下記まで
お電話ください! イメージキャラクター「あむりん」

厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 福井県事業所

〒910-0005 事業所住所 福井市大手2丁目22-28

TEL: (0776) 23-1334 【平日9:00～17:30】

中体連事務局と語る会



参加した養護教員部のみなさん

中体連の大会

はそこに挑む全ての生徒にとつて、自分自身、仲間、指導者、保護者、多くの人と関わったそれまでの歩みをふりかえり、大きく成長する場となります。子どもたちの成長に私たちは目頭を熱くし、激務に立ち向かう原動力にもなる一面があります。

1月31日、生徒たちの成長を支えるためにどうやって大会運営と中体連の話し合いがありました。内容の概要を紹介します。

1 派遣文書について

「個人宛救護依頼文書」で、会場・集合時刻・終了予定時刻・雨天時の対応などを明記していただきたい。大会要項には、緊急連絡体制や救急医療機関名と電話番号、医療情報ネットのアドレス等を掲載していただきたい。

中体連

県中体連主催大会、地区中体連大会でも、詳細を明記した個人宛派遣文書を事前送付する。また、医療情報ネットのアドレスを掲載し、事前に搬送体制について準備できるようにする。

2 勤務・旅費について

養教部

(1)出張扱いとなる、統一した派遣文書をお願いしたい。
(2)特業手当の支給がないので、各校で「休養」について管理職からの声かけをお願いしたい。
(3)週休日、休日に勤務した場合「時間外業務承認(同意)簿」へ記入することを管理職へ周知していただきたい。

(4)看護師派遣について、検討をお願いしたい。
(5)救護役員の依頼や変更については、各競技専門部が行っていただくようお願いしたい。
(6)出張扱いに伴い、旅費が支給されま

中体連

(1)当日は出張扱いとする。
(2)各学校で適宜、休養を取ることができるとようお願いする。
(3)週休日、休日に勤務した場合「時間外業務承認(同意)簿」に記入していただきたい。
(4)予算は厳しいが、医師・看護師等の派遣をすすめていく。

3 救急時の対応について

養教部

(1)各競技会場では、AED・担架・氷・熱中症指数モニター等の準備をお願いしたい。
(2)医療機関へ生徒を搬送する際は、傷病生徒の学校担当者が付き添っていただくようお願いしたい。
(3)緊急時に適切な対応をするため救護役員が複数の会場を掛け持ちすることがないようにお願いしたい。

中体連

(1)各競技会場にAED・担架・氷などの準備をお願いする。
(2)医療機関へ搬送する場合の付き添いは、該当生徒の学校で行う。緊急連絡体制で関係者への連絡調整をする。
(3)救護係の複数会場掛け持ちをなくすようお願いする。

4 熱中症予防対策について

養教部

(1)各競技会場で十分な氷の準備をお願いしたい。
(2)冷房設備のある部屋の準備をお願いしたい。
(3)熱中症指数モニターをもとに管理をお願いしたい。

中体連

(1)令和2年度より夏季大会時期を前倒しする。
(2)冷房等の会場設備を活かし、氷も準備する。

(3)WBGT計を設置し、柔軟に大会運営の見直しを図る。

5 医薬品代の支給について

養教部

(1)使用した医薬品については、請求方法を明確にしていたいただきたい。

中体連

(1)地区の実態に合わせ、請求しやすい方法を今後も検討していく。

このほか「大会運営のためのチェックリストを作成してはどうか」「役員になつていない教諭や養護教諭がケガをした場合はどうなるのか」「中体連の大会中にケガをした場合、公務災害で保障されない場合があるので大会期間中は事務局が役員の保険をかけている」といったことが話題となりました。

また、中体連からは、県からの補助金が毎年減額となっており看護師派遣や審判の外部委託などについて事務局としてどう予算を割り振るか、悩ましいということも示されました。



土橋会長(左) 中屋理事長(右)